

令和5年 大館市の10大ニュース

順位	項 目	説 明
1	ハチ公生誕100年プロジェクト	ハチ公の生誕100年という記念すべき年に、8月の「大館うたの日(来場者2,000人)」や11月の「ハチ公生誕100年フェスティバルin大館(来場者14,800人)」のイベント開催をはじめ、ハチ公のふるさと大館市・ハチ公の物語が生まれた渋谷区双方で、さまざまな取り組みを共同で実施し、プロジェクトに賛同するパートナー企業・団体数が約200になるなど、全国から大きな反響を得ることができた。
2	福原市政3期目がスタート	4月29日に任期満了に伴う大館市長選挙を執行。福原淳嗣氏が再選を果たし、福原市政3期目がスタートした。
3	大館駅新駅舎の開業並びにJR大館駅待合室に関する連携協定を締結	鉄道駅と地域交流施設の機能を併せ持った新たな交流の起点となる大館駅新駅舎が完成。10月29日に来賓、JR、工事関係者が参加し、完成記念式典を行い開業を迎えた。また、市とJR東日本秋田支社、JR東日本クロスステーションリテールカンパニーの3者により、駅待合室に関する連携協定を締結。待合室の一角に地場産品の売り場「THE ODATE より見世」を設置し、地元の農産品や工芸品の販売と地域特産品の販路拡大に取り組んでいく。
4	ツキノワグマの出没・被害の発生が過去最多	ツキノワグマの出没件数は平年の6倍となる約600件。被害も人身被害7件を含む140件を超えるなど、いずれも過去最多を大幅に上回る異常事態となった。市鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動で、平年の4倍を超える200頭以上を捕獲したほか、市民への迅速な情報提供や注意喚起、関係機関と連携した追い払いの実施など、官民を挙げて対策にあたった。
5	包括的民間委託の深化を目指す取り組みが、国の「群マネ」モデル地域に選定	令和4年12月から試行中の道路と河川の包括的民間委託の深化を目指す取り組みが、国土交通省の「地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)」のモデル地域として、東北で唯一12月に選定された。今後は、有識者からの助言をもとに、広範囲のインフラを効果的に管理運営する仕組みを深化していく。
6	「おおだて出産・子育て応援事業」などを新たに開始、福祉医療制度の対象者を高校生世代まで拡大	安心して子どもを産み育てられる環境を充実させるため、伴走型相談支援と出産・子育て応援給付金による経済的支援を一体的に行う「おおだて出産・子育て応援事業」と、1歳または2歳の誕生日を迎えた保護者にお祝い品の地域限定商品券贈呈と併せ、子育て支援ニーズの把握を行う「大館市はっとワンツー応援事業」を開始した。また、福祉医療制度の対象者を、本市の単独事業として高校生世代(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)まで拡大した。これにより、約1,000人の児童に新たに受給者証を交付した。
7	ニプロ株式会社大館第7工場が操業を開始	ニプロ株式会社大館第7工場が、10月に新規雇用179人で操業を開始した。主力製品ダイアライザ(人工腎臓)の生産能力増強を目的としたもので、令和7年度までに280人の新規雇用を計画している。同工場内で整備が進められている東洋紡株式会社の一貫生産体制工場は、令和6年6月の操業を予定している。
8	比内扇田地区「自動運転実証調査事業」の実施、田代地域「バス路線再編実証運行」の開始	比内扇田地区で、1周約4kmのコースを自動運転レベル2で走行する乗車体験会を11月に実施した。今後、経済面や技術面、社会受容性などの課題把握や、実証試験から得られたデータを分析し、検討を重ねながら自動運転技術を活用した社会実装を目指していく。また、田代地域では公共交通サービスを堅持するため、10月から「バス路線再編実証運行」を開始した。具体的には「大館～鷹巣間」の路線バスを継続し、田代地域の各集落には、早口駅などハブとなるバス停でワゴン車に乗り換える実証運行であり、公共交通空白地域の縮小を念頭に、来年度の本格運行を目指していく。令和4年10月から実証運行を実施している大館版mobiプロジェクトとともに、市民の利便性の向上を図った。
9	未来おおだてサミット～宇宙の旅～中学生が国内最先端技術を体験	1月10日～14日までの3日間、市内中学校の代表生徒8人が、教育長を団長として友好都市である鹿児島県南種子町へ訪問し、JAXA種子島宇宙センターを見学した。さらに国内最先端の技術に直接触れるため、名古屋市の三菱重工業株式会社、東京のANAグループ施設を見学し、生徒の視野を広げるとともに未来を担う大館人材の育成につなげた。
10	アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)との連携協定の締結	10月11日、アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)と交流促進を目的とした連携協定を締結した。ベルギー訪問や秋田犬を通じた交流などの積み重ねが実を結んだものであり、今後は、産業・観光分野のほか、子どもたちの交流など他の分野にも交流の輪を広げるため、引き続き取り組みを進めていく。
10	地域救命救急センター増改築工事着工	2月に地域救命救急センター増改築工事に着工した。救急処置室を増築(1→2室)、時間外処置室を拡張(5→10人分)、診察室の増室(2→4室)、医師当直室室等の整備、医療機器等の整備により、令和6年4月の開設を予定している。
10	消防署北分署新築工事着工	10月に消防署北分署新築工事に着工した。工事の竣工は、令和6年9月を予定している。